

学級組織の活性化を図りましょう！

～ 達成感、所属感、連帯感が味わえる学級組織をつくろう ～

平成24年5月8日発行

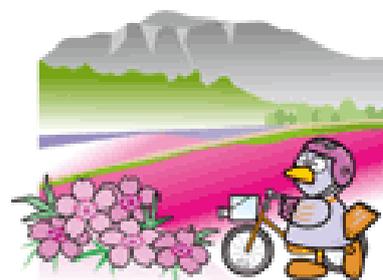
ゴールデンウィークが終わり、学級の活動が活発になる時期になりました。

しかし、今まで力を入れて指導してきた学級の約束やルールが守られず、いいかげんになってしまう時期でもあります。せっかく指導してきたことが、「どうしても」と、単に子どもをしかるのではなく、指導してきたことを再確認すべき時期であると考え、前向きに取り組むことが大切です。

また、学校生活に不適應を起こす子どもたちが出やすい時期でもあります。子どもたち一人一人の心のケアにも気を配ることが必要です。

さて、4月当初に決めた係活動や当番活動等の学級組織は、うまく機能していますか？ 分担を決めただけで活動ができずに、一部の子どもたちの活動だけになっていることはありませんか？

学級の全ての子どもたちが、達成感、所属感、連帯感を味わうことができるように、学級組織の活性化を図りましょう。



1 学級目標達成に向けて、がんばる学級をつくろう！

教室には、学級目標が分かりやすく提示されていますか？

学級目標は、学級のメンバーである子どもたち、学級担任の願いや思いが表されたものです。

機会あるごとに学級目標の内容や達成状況、取組状況を確認しましょう。また、定期的に具体的な目標を掲げて、目標達成に向かって取組を進めましょう。具体的な目標が達成できたら、新たな具体的目標を子どもたちと考え、掲示していくとよいと思います。学級の子ども一人一人が、自分のどのような行動やかかわりが学級目標を達成することになるのかが分かる指導と支援が大切です。

学級目標達成に向けての取組状況の良い点や問題点、解決を図るための方策を考える話し合い活動（学級会）を、計画的に進めたいものです。

◆学習指導要領（平成20年公示） 特別活動改訂の趣旨から

(ii) 改善の具体的事項

【小学校】(ア)

① 学級や学校の生活づくりについては、自らよりよい生活を築くために合意形成を



する話し合い活動や自分たちでルールをつくって守る活動などを一層重視する。また、自らよりよい学級生活の実現に取り組む意欲をはぐくむとともに、集団の一員としての自覚や責任感を高め、勤労を重視する観点から係活動とともに、日常の清掃などの当番活動も計画的に指導できるようにする。



◇ 学級活動の目標 【小学校】【中学校】

学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。

☆関連資料 学級経営講座5

[「子どもたちとのかかわり、子どもたち同士のかかわりを深めよう」](#)

2 学級会を開こう！



2 係活動、当番活動を見直し、活躍の機会を増やそう！

子どもたちは、自分の係や当番の役割を自覚し、生き生きと活動していますか。

子どもたちの活動を観察しながら、また、子どもたちと共に活動しながら、状況を把握しましょう。

「どのように活動したらよいか分からない。」「活動する意欲が低い。」「活動したくても仕事がない。」など、生き生きと活動できていない場合には、何らかの理由があることと思います。それぞれの状況や発達段階に合わせて、活動の機会やヒントを与え、活動の仕方を具体的に教えながら、活動ができるようにしてあげることが大切です。そして活動を認めることです。褒められる、感謝される、自らの工夫や努力が学級の役に立つ等の経験が、主体的な活動の原動力となります。

また、活動を通して、子ども同士のかかわりやつながり、活動の広がりがつくれるように配慮しましょう。

こうした環境の中で、認められる経験を重ねることが、子どもたちの自己肯定感と学級への所属感を育てていきます。

活動分担や仕事内容、「何をどのようにがんばったらよいのか」などを、絵や文字や写真で分かりやすく示しておくことも大切です。

☆関連資料 学級経営講座9

[「清掃指導をがんばろう」](#)

